



とちぎマイスター「石材施工（石材加工作業）」技能の例

昔ながらの技法と現代工法を融合した現代彫刻

この としあき
金野 敏明 宇都宮市 在住

(有)このの石材店 専務取締役 (Tel 028-622-5840)

「墓石から仏像彫刻まで」

(現在の仕事)

主に一般の墓石を中心としているが、寺社などの石段、敷石、石張り、石塀、仏像彫刻に至るまで幅広く行っている。大石仏を手掛けた実績もあり、お寺で五百羅漢石像を彫る会を主導している。

(得意な分野)

昔ながらの技法を取り入れた石像彫刻を得意としている。また、透かし彫りや梵字の薬研彫りにも力を入れている。花崗岩（御影石）や安山岩など、石そのものが持つ素材の特性を見極め、加工の仕方を変えることにより、持ち味を最大限に発揮できるよう常に心掛けている。

「基本を大切にする石加工」

石材業界も機械化が進んでいますが、ノミで石をはつる手加工が基本です。石と向かい合い、目で見て耳で聴き、手に伝わるわずかな感触を感じながら、石を叩き、何度も失敗を繰り返しながら、学んでください。

「石の上にも3年」と言うことわざの通り、幾度の困難を乗り越え、コツコツと努力を重ねていけば、いつか技能・技術を身に付けることができます。私自身も日々修行を積んでいます。これからも、講習会などを通じ、石材加工の魅力や奥深さを伝えていきたいと思います。

